



# 2015-2016年 海南東ロータリークラブ

## ROTARY CLUB OF KAINAN EAST

RI District 2640 Japan

### 第 1850 回例会

平成 27 年 10 月 26 日(月)

12:30~ 海南商工会議所 4F

ゲスト卓話 和歌山県交通安全協会 亀井 康彦 様

#### 1. 開会点鐘

2. ロータリーソング 「それでこそロータリー」  
3. ゲスト紹介

一般財団法人和歌山県交通安全協会  
海南支部・有田支部事務局長  
亀井 康彦 様

#### 4. 出席報告

会員総数 49 名 出席者数 30 名  
出席率 61.22% 前回修正出席率 63.27%

#### 5. 会長スピーチ

皆さん今日は。ご出席ありがとうございます。

本日のお客様、和歌山県交通安全協会 亀井康彦様  
ようこそお出でいただきました。後ほど、卓話よろしく  
お願ひいたします。

秋も深まり、昨日から急に寒く感じられるようになりました。札幌では初雪が  
降り、東京・近畿では木枯らし 1 号が吹いたようです。

さて、2640 地区の混乱について、今まで色々なご報告をさせていただきましたが、今回が最後のお知らせになれば良いと思っております。

辻ガバナーより 10 月 23 日付で各クラブに次のようなメールが届いております。

国際ロータリーのジョン・ヒューコ事務総長より次のような内容の文書を受け取ったという内容です。

「地区ガバナー辻秀和様 2015 年 10 月の会合において、R I 理事会は、2015 年 9 月 2 日付の K. R. ラビンドラン R I 会長による貴殿の任命を確認し、ガバナーのすべての権限、特権、責務を有する 2015~16 年度第 2640 地区ガバナーとして貴殿を選出したことを、ここにお知らせします。10 月の R I 理事会において、

会長 阪口 洋一 君



私、辻 秀和のガバナー就任が確認された旨は、既にお知らせさせていただいているところですが、ジョン・ヒューコ事務総長より文書による通知が届けられましたので、改めて各クラブへご連絡させていただきます。

この文書を受けたことにより、2015~2016 年度のガバナー問題については、完全に解決したことになります。については、私において、当地区ガバナーとして当地区の再整備と発展に全力で取り組む所存ですので、各クラブのご協力をよろしくお願い申し上げます。メールは以上です

2640 地区が平穏で友情に満ちた地区として再出発できることを願うばかりです。ご清聴ありがとうございました。

#### 6. 幹事報告

幹事 横出 廣君

##### ○例会臨時変更のお知らせ

粉河 R C 11 月 4 日 (水) → 11 月 4 日 (水)  
12:30~ ふるさとセンター 2 F 美術室

和歌山東 R C 11 月 5 日 (木) → 11 月 4 日 (水)  
18:30~ ダイワロイネットホテル  
(シンガポール R C 歓迎例会)

11 月 12 日 (木) → 11 月 12 日 (木)

12:30~ アバローム紀の国  
11 F ツインバード

和歌山東南 R C

11 月 18 日 (水) → 11 月 13 日 (金)

19:00~ アバローム紀の国  
11 F ツインバード

和歌山中 R C との合同例会

海南 R C 11 月 18 日 (水) → 11 月 19 日 (木)  
18:30~ 海南商工会議所 4 F

海南 3 クラブ合同公式訪問例会

岩出 R C 11 月 26 日 (木) → 11 月 21 日 (土)  
14:00~16:00 創立 30 周年記念コンサート

岩出市総合体育館大ホール

18:30~21:00 記念例会・祝賀会  
ホテルいとう 4 F

10月は 経済と地域社会の発展月間・米山月間です

四つのテスト 首行はこれにてらしてから

- ①真実かどうか ③好意と友情を深められるか  
②みんなに公平か ④みんなのためになるかどうか



事務所 〒642-0002 海南市日方 1294(海南商工会議所内)

電話(073)483-0801 FAX(073)483-2266

会長：阪口 洋一 幹事：横出 廣 SAA：千賀 知起

## 7. ゲスト卓話 「鑑識」について

一般財団法人和歌山県交通安全協会  
海南支部・有田支部事務局長



今日は、山名さんから「鑑識」について興味のある話をして欲しいということでお話をうかがいました。上手く話せるかわかりませんが、どうぞよろしくお願いします。みなさん「鑑識」のイメージというか「鑑讐」という言葉で、頭

「鑑識といつて言葉で」頭に思うことは何ですか？

そうですね、鑑識の仕事は、指紋、足跡・こん跡、写真の鑑定が主な仕事です。DNA 鑑定、血液、銃器、筆跡の鑑定、覚醒剤・大麻・危険ドラッグ等の鑑定、画像解析、ポリグラフ、交通事故の解析は、科学捜査研究所で行います。現場鑑識と言いまして、犯罪現場で今言った資料を集めるのも鑑識の仕事です。

今では、現場では鑑識優先ですが、私が鑑識係になった頃は刑事が現場を仕切っていました。まず、刑事が現場に入って判断して指揮をするのです。今は、鑑識活動が終了するまでは、たとえ、刑事部長でも現場には入れません、テレビでは鑑識と刑事と一緒に現場を観ていますが、実際、それはありません。それだけ証拠が重要視されているのです。

私は現場鑑識の仕事を主にしてきました。警察本部鑑識課で約25年勤務しましたので、その間県下の重要な事件のほとんどの現場に行きました。現場は警察用語で「証拠の宝庫」といわれるよう、犯人が残した資料がいっぱいあります。それを如何に採取するか、鑑識の力量にかかります。犯人は証拠を如何に残さない、鑑識は如何にそれを採取するか事件現場での戦いです。テレビで見るように、いつも犯人つながる重要な資料が見つかるとは限りません。重要な事件現場で犯人の資料が採取できなくて未解決な事件もたくさんあり悔しい思い出もあります。それが現実ですが、採取した鑑識の資料によって犯人を割り出せば最高であります。被疑者の供述だけでは裁判に勝てません。私のモットーは「百枚の調書より一つの指紋」であります。刑事が百枚の調書を書いても全部証拠として採用されません。一つの指紋を発見すれば裁判で有罪を勝ち取れるからです。

話は変わりますが、鑑識の主役は指紋ですので「指紋」の話を少しあげたいと思います。個人を特定する方法としては？ 指紋、DNA型鑑定、歯牙鑑定、画像解析等がありますが、現時点では、指紋は個人を特定する方法としては、一番です。というのは、データベース量が多く、「指紋自動識別システム」というのが構築されていますので、照会をすれば県内数分、本庁照会でも遅くて数時間で結果がでます。最近はDNA鑑定が注目されていますが、データベース量が約数十万人分と少なく、また、鑑定結果が出るには、早くても24時間かかります。ですが、いずれDNA型鑑定が指紋鑑

定と肩を並べるようになると思います。というのも、DNA型鑑定は微量で鑑定可能であること、現場に遺留しやすい（工作しにくい）からです。血液、精液はもちろん、尿、唾液、毛根鞘の付いた頭髪、また骨、皮膚片から鑑定できます。また、犯人が触った紐、鎖など指紋が採取できない細いものからでも、鑑定資料が採取できます。DNA型鑑定は細胞の中の遺伝子を鑑定するのです。人間は約60兆個の細胞でできています。毎日、百万単位の細胞が新陳代謝しています。汗、唾液に剥離した細胞が含まれているから、汗、唾液からも鑑定できます。DNA型鑑定により、裏付けできた特異な事例として

○強制わいせつ事件で被害者を両腕で抱え上げ車両内に乗せようとした事件について、被害者の膝裏側から採取したDNA資料が被疑者に一致した。

○ 器物損壊事件でガラスを割るために投げた石からDNAを採取し犯人を特定できた事例があります。

次に歯牙鑑定ですが、歯根・神経の特徴が皆違うので個人識別できます。先の紀南災害で100名近くの死者・行方不明者がありました。そのうち12名が歯牙鑑定で身元確認したとの話を聞いています。東北大震災においても、詳細は聞いておりませんがかなりの割合で歯牙鑑定により身元確認したものと思われます。歯科医の資料があれば割合簡単に個人識別が出来ます。

## 指紋の話

ちょっと話は専門的になるのですが、人の皮膚は有毛皮と無毛皮があってその無毛皮の表面の突起（隆線といいます）これが規則正しく並んだのが指紋です。場所によって、掌紋、足紋と呼ばれます。



る) のかと言いま  
すと、人の皮膚は絶えず発汗作用をしていまして、触  
ったりしますとその汗が物に着くからです。  
汗は 99% 水分で残りは無機物 (カリウム、カルシウ  
ム、鉄分等) 有機物 (ビタミン、アンモニア、アミノ  
酸等) です。指紋の種類は大別して、渦状紋、てい状  
紋、弓状紋、変体紋に分類できます。

次に、ついた指紋はどのくらいの期間残っているのか？（採取可能か）指紋は、熱、水分、紫外線に弱いので、付着した条件に違いはあります。

- ・新建材（化粧板等）は劣化が早く6日くらい
  - ・ガラスで1ヶ月半
  - ・新聞紙で5カ月
  - ・高質の紙、ポリ袋に至っては10年

隆線の太さは、150～250 ミクロンです。ですから、10 ミクロン程度の微粒子の粉末であれば、消火器の粉・コピーのトナー・ベビーパウダーでも十分採取できます。

指紋の鑑定ですが、明治 44 年に指紋制度が出来まして、昭和 57 年～指紋自動識別システムと言ってコンピューターで照合できるようになりました。今は、指紋認証システムが一般にも開発されパソコン、防犯システム等にも活用されていますね？鑑定方法を簡単に説明しますと、指紋の向きを決めた後、特徴点を指摘するのです。隆線の切れ目、接合、別れ、点が特徴点になります。指紋には約 120 点、掌紋には約 2000 点の特徴点があります。その特徴が 12 点あれば統計学上 2000 億人に一人という確立になるそうで、現在の裁判所で証拠として採用されています。世界の人口、百数十億と比較して同一指紋の人はいないということです。DNA 型鑑定の確率は 2 兆億人に一人ということで、これも世界中で二人といしない確率ですね。一卵性双生児の DNA 型は同じですが、指紋はよく似ていますが違います。それとテレビで、現場で採取した指紋と登録されている犯人の指紋が画像で重複して合致している画面がありますがそんなことは絶対にありません。力加減で隆線の間隔が伸び縮みするから…

コンピューターではじき出した指紋について、最後は指紋鑑定官の目で鑑定します。事件の裏話について少し話します。

## 第一カレー事件の話

あの大きな家、屋敷をパイプ足場で組みブルーシートで現場（敷地全体）を囲み、マスコミから遮蔽することができました。現在も事件現場報道のテレビ映像にブルーシートを見るとカレー事件を思い出します。また、報道合戦も激しく、検証前に隣の家に対して、ベランダ等を報道関係者に貸さないようお願いに回りました。聞くとやはり「数万円で貸して欲しいと言わされましたらが断りました」の返事で安心しておりましたところ、当日そこにテレビカメラが座っていました。後日聞きますと〇〇通信が 100 万円近くの値段で交渉に来たそうです。私でも一般人でしたら金の力に負けたかも…。そのほかに、検証時植え込みの中に隠しマイクも何個か、ジュースの紙パックを改良した遠隔装置カメラも 1 台ありました。この事件では、通常鑑識活動である指紋・足跡を探すにではなく、ヒ素を見つけるかが目的でありますので、ヒ素とは、ヒ素の特徴等、科学鑑識経験者（オウム事件検証経験者である警視庁幹部）に何度も教養を受けて行いました。結果、重要な場所からヒ素を発見し、完全黙秘する被疑者の

起訴に持ち込んだのです。

## スプリング 8 の威力・勝利

証拠のヒ素について、播磨にある電子を利用した大型鑑定施設（スプリング8）によって、カレー内のヒ素、真須美宅押収のヒ素、吐物ヒ素、兄弟から提出のヒ素、真須美の毛髪のヒ素が同一として矛盾がないことを立証（日本警察で初めて鑑定に利用）ができて有罪を勝ち取りました。

## 全国版事件だからの苦労

遮蔽幕内での作業でしたので肉体的にも疲れました。また、自然現象であるトイレは外に出なければならなかつたので、外に出る場合も気を遣いました。外に出ようと幕を上げると、一斉にテレビカメラが構えている。私は2班の班長でしたので、外に出る時は服装を整える(だらしない格好で外に出ると全国に放映される恐れあり)、また作業時間は2時間を区切りに休憩をとり緊張持続を図りました。

## 裏話 第二 もう少しで完全犯罪

平成13年だったと思います。和歌山市内で「強盗殺人放火事件」が発生し現場鑑識活動を行ったのですが、現場指紋はほとんど採取できず手袋で触ったような混成、足跡も発見できず困っていたところ、死体のそばにあった扇風機の支柱にかすかな血液指紋のようなものを発見「これは被疑者のものに間違いない」との判断で、本部に持ち帰って慎重に指紋採取することにした。というのは、血液指紋の採取方法は試薬を使用する関係で非常に難しく失敗は許されないことから、目に見える物は絶対写真化できるとの持論から、絞り、光の照射角度、シャッター速度を何度も変えては現像を繰り返し半日掛けてやっと12点指摘できる写真撮影に成功して被疑者を割り出しました。当時はデジタルカメラで撮影したものは、証拠として裁判で採用されなかつたので光量が必要なフィルム写真撮影に苦労した訳です。この事件、被疑者の逮捕後の供述によると、炊事用ゴム手袋で犯行を行い最後にシンナーを蒔いて火をつけて現場を死体と共に燃やし完全犯罪を敢行しようとしたが火をつける際ゴム手袋のまま100円ライターで火をつけようとしたが、つきにくかったので、ゴム手袋を脱いでまさに着火しようとしたところ、被疑者供述では「死体が動いたので、あわててそばの扇風機で被害者の顔面を殴った」そのとき握った扇風機の支柱に指紋が付着したので、手袋をして犯行をしていても緊急時(とっさの時)指紋が遺留されることもあるということを教えられた事例です。シンナーに着火し家が燃えていたら…犯人検挙に相当の時間がかかったかもしれませんでした。

### 裏話 第三 人の肉を食べる虫

平成20年夏、東署管内で発生した「殺人事件」の死体が海南署管内紀美野町で発見された事案です。発見された死体は、ほとんど白骨化しており、死後数ヶ月経っているのではないかと思われました。その後、警察署で検視官、法医学教授と検視したがやはり死後2~3ヶ月経過の見解がありました。一緒に見ていた署長が、個人的に相談を受けた「家出入に着衣の特徴

が似ている」とのことから、家出入届の記録を調べたところ着衣等の特徴が一致しましたが生前確認後二週間くらいしか経っていないが、高温下での腐敗進行、蛆虫による蚕食によって早期に白骨化したものと判断されました。私は、翌日事案を聞いて、単なる変死事案ではないと思い(通常、事件の可能性があれば本部鑑識課に要請があります)本部鑑識課に現場要請がなかったことから、署長と親交がありましたので、直接署長に電話で再度、現場鑑識活動させてほしいとお願いしました。課員を連れて現場鑑識を実施しましたが、付近の缶、紙類はすでに署に持ち帰っており、特に目新しいものはありませんでした。念のため再度ガードレール、看板類の指紋検出を試みましたが採取できませんでした。死体のあったと思われる箇所を見ますと、土が体汁で黒く変色しており、蛆の殻は比較的少なかったのを覚えています。よく見ると、そこに2cmくらいの虫がたくさん這い回っていたので、好奇心の強い私は「何の虫かな」と思い「フィルムキャップ」に数匹入れて持ち帰り、科捜研研究員に調べてもらつたのですが、判らない、自然博物館に行けば分かるかも知れないと教えられたので、その足で虫をもつてそこの琴の浦にある自然博物館に行きましたと、虫の研究員がその虫を見た途端、「シデ虫の幼虫ですな」と即答してくれまして、文献を見させてくれました。温暖な地方の山中に生息し、好んで動物の死体を食べるそうで、豚の足一本くらいは1週間で食べてしまうこともあるそうですと、文献を見させてくれました。結果を検査本部に入れると、早期白骨化現象を納得してくれました。ちなみに、文献、インターネットで調べてみましたところシデ虫は「埋葬虫」「死出虫」と呼ばれるそうです。また、紀南方面の海中に「ニセスナホリムシ」という虫があり、これも、1昼夜で死体を白骨化させるそうです。

まだまだ、現場鑑識の面白いことや、失敗したことたくさんありますが時間の関係でこの辺で終わらせて頂きます。ご静聴有り難うございました。

## 9. 閉会点鐘

### 次回例会

第1851回 平成27年11月2日(月)  
海南商工会議所 4F 18:30~  
夜間例会 お誕生日、ご結婚お祝い



### ニコニコ・BOX

阪口 洋一 君 亀井様、本日はよろしくお願ひ致します。  
横出 廣 君 //  
千賀 知起 君 //  
谷脇 良樹 君 亀井局長、本日は卓話よろしくお願ひします。ご多忙中にもかかわらずありがとうございます。  
山名 正一 君 亀井様、お忙しいところお越し頂

きありがとうございます。本日、宜しくお願ひいたします。  
深谷 政男 君 昨日、会社の社長と専務が大阪マラソン完走しました。私は応援に頑張りました。  
上野山 雅也 君 土日と千葉県へゴルフトー参加させて頂きました。素晴らしいコースと食事 etc 満足しました。宇恵さんお世話有難うございました。  
桑添 剛 君 宇恵さん、お世話になりました。  
上中 嗣郎 君 //

## Rotary NEWS

### ロータリーとシェルター・ボックスが シリア難民を支援

2011年から内戦が続くシリアでは、毎日6,000人以上が国外に逃れています。9月現在で登録された難民数は



410万人以上に上り、760万人以上が国内で避難生活を強いられています。現在の世界の難民数は「過去最悪」であると、国連は報告しています。「シリア難民の苦境により、今、世界の“思いやり”が試されている」と話すのは、国際ロータリーのジョン・ヒューコ事務総長です。「世界中のロータリー会員は、シリアや世界各地での難民問題に深く心を痛めています。私たちは、避難を強いられた人びとの苦しみと不安を和らげるために、行動を起こすよう会員に呼びかけています。ロータリー会員は、職業スキルと知識、そして各地域リーダーとの人脈を駆使して、地元の人びとを結集させ、この人道的危機に取り組むことができます」

支援の一つの方法として、ロータリーのパートナーである非営利団体、シェルター・ボックスによる災害救援活動への寄付も行われています。シェルター・ボックスはこれまで4年近くにわたり、国連難民高等弁務官事務所と協力してシリア難民に救援物資を提供してきました。また、欧洲へと移動する際にギリシャとトルコを通過する難民のために、仮設住居と生活物資の提供も行っています。多くのシリア難民が、命の危険を冒して海を渡り、ギリシャへとやってきます。

大勢の難民が押し寄せるギリシャのレスボス島では、たどり着く難民の数が一日2,000人に上ることもあります。「小さなゴムボートにあふれるほど大勢の人が乗ってやってきます。しかもそのほとんどは泳げないのです」と語るのは、最近ギリシャから戻ったシェルター・ボックス救援チームのメンバー、レイチェル・ハービーさんです。「さぞ恐ろしい経験に違いありません。しかも、この人たちは既に内戦での心の傷を抱えた人たちなのです」